

特集 家庭で子どもとの対話を ～岡山県の教育を前進させるために～ 育てよう!子どもたちの豊かな心

「こんなことがあったよ。」と、子どもが次のような体験を語ったら、家族でどのような話をされますか?

ある出来事

中学2年生のよしおさんは自転車通学をしています。通学路には、2台の自転車がギリギリすれ違えるかどうかという細い道がありました。ある朝、自転車で登校していたよしおさんは、その細い道の向こうから、通勤途中の男性が自転車に乗って来るのが見えました。よしおさんは先を急いでいましたが、男性に道を譲ろうと、道が細くなる手前で自転車を止め、待つことにしました。男性は、待っているよしおさんのそばを通り過ぎるとき、何も言わず、そのまま走って行きました。



言葉のキャッチボールは、すなわち心のキャッチボールです。そして、言葉のキャッチボールは、まずは、あいさつから。家庭の中でも「あいさつをきちんと交わす」こと、できていますか? また、睡眠、食事等の生活習慣を整えることも、心の安定につながります。

保護者の方、地域の方も、ぜひ、あいさつ運動にご参加ください。

あいさつ

県内全域に運動を広げ、目指せ「あいさつ日本一」!

県教育委員会では、毎月10日を「県下一斉あいさつ運動の日」として、各学校を中心に朝の校門であいさつ運動を実施しています。今年度、「あいさつ日本一」を目指して、新たにのぼりを作成・配布し、各学校での取組の活性化を図っています。特色ある取組も募集し、ホームページで紹介しています。学校を起点としたあいさつ運動が、学校から地域へ、そして、県内全域へと広がっています。

おはよう。
行ってらっしゃい!!



元気のよいあいさつの声が響いています
「津山市立西小学区子どもを見守る会」



家庭で豊かな心をはぐくむには…

【ポイント1】大人がモデルを示しましょう。

●「よいことはよい」

この出来事の場合、まずは道を譲ることができた子どもの気持ち・行動をしっかりほめたいものです。また、子どもは大人である保護者の価値判断を見て育ちます。大人がよい手本を示すことは何より大切です。

●「悪いことは悪い」けれど…

この出来事では、子どもが男性の行動に不快感を持つことも考えられます。子どものそうした気持ちを受け止め、男性の立場ではどうすることがよいのかを話し合うことが大切です。

【ポイント2】日々の会話を大切にしましょう。

子どもは、規範意識や思いやりの心が問われる場面に日々遭遇しています。子どもは家族と話し合う中で、自分の判断が正しいのかどうかを確認し、納得していきます。善悪の判断や礼儀、社会的なルール等について、共に考えていくことが大切です。

【ポイント3】多くの経験から学ばせましょう。

子どもは、家庭の中だけでなく、様々な体験を通じて、豊かな人間性や社会性等をはぐくんでいきます。「かわいい子には旅をさせよ」です。地域の行事や自然体験、様々な人と触れ合う機会等を意識してつくってみてはどうでしょうか。

早寝・早起き・朝ごはん

県教育委員会では「ぱっちり!モグモグ」生活リズム向上キャンペーンを展開しています。(8面に関連記事)



岡山県「ぱっちり!モグモグ」生活リズム向上マスコットキャラクター